

別表第一（第四条の三関係）

（単位・人）

研究科名	専攻名	博士課程			
		前期課程		後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
法学研究科	公法専攻	八	一六	三	九
	民事法専攻	二〇	四〇	七	二一
	刑事法専攻	一〇	二〇	五	一五
	国際企業関係法専攻	二〇	四〇	一〇	三〇
	政治学専攻	一五	三〇	三	九
	計	七三	一四六	二八	八四
経済学研究科	経済学専攻	五〇	一〇〇	一〇	三〇
	計	五〇	一〇〇	一〇	三〇
商学研究科	商学専攻	二五	五〇	五	一五
	計	二五	五〇	五	一五
理工学研究科	数学専攻	二五	五〇	三	九
	物理学専攻	二五	五〇	三	九
	都市人間環境学専攻	六〇	一二〇	五	一五
	精密工学専攻	五二	一〇四	三	九
	電気電子情報通信工学専攻	四五	九〇	—	—
	応用化学専攻	四五	九〇	三	九
	経営システム工学専攻	三〇	六〇	三	九
	情報工学専攻	四〇	八〇	—	—
	情報セキュリティ科学専攻	—	—	—	—
	生命科学専攻	二五	五〇	二	六
電気・情報系専攻	—	—	七	二一	
	計	三四七	六九四	二九	八七
文学研究科	国文学専攻	一〇	二〇	五	一五
	英文学専攻	一〇	二〇	五	一五
	独文学専攻	五	一〇	三	九
	仏文学専攻	五	一〇	三	九
	中国言語文化専攻	五	一〇	三	九
	日本史学専攻	七	一四	五	一五
	東洋史学専攻	五	一〇	三	九
	西洋史学専攻	五	一〇	三	九
	哲学専攻	五	一〇	三	九
	社会学専攻	五	一〇	三	九
	社会情報学専攻	五	一〇	三	九
	教育学専攻	五	一〇	三	九
	心理学専攻	八	一六	四	一二
	計	八〇	一六〇	四六	一三八
総合政策研究科	総合政策専攻	四〇	八〇	一〇	三〇
	計	四〇	八〇	一〇	三〇
	合計	六一五	一、二三〇	一二八	三八四

収容定員合計 一、六一四 人

（注） 専攻名の欄の専攻は、博士課程の専攻として置く。

別表第二（第三十四条第一項関係）

研 究 科	課 程	必 要 単 位 数
法 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
経 済 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
商 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
理 工 学 研 究 科	博士課程前期課程	三〇
文 学 研 究 科	博士課程前期課程	三二
総合政策研究科	博士課程前期課程	三〇

（注） 理工学研究科博士課程前期課程

論文研修第一及び論文研修第二を含めて三十単位を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げて早期に修了する場合は、論文研修第一を含めて三十単位修得すること。

別表第二の二（第三十四条第二項関係）

研 究 科	課 程	必 要 単 位 数
法 学 研 究 科	博士課程後期課程	八
経 済 学 研 究 科	博士課程後期課程	四
商 学 研 究 科	博士課程後期課程	一二
理 工 学 研 究 科	博士課程後期課程	一二
文 学 研 究 科	博士課程後期課程	一六
総合政策研究科	博士課程後期課程	八

（注） 理工学研究科博士課程後期課程

特殊論文研修Ⅰ（一年次）、特殊論文研修Ⅱ（一年次）、特殊論文研修Ⅲ（二年次）、特殊論文研修Ⅳ（二年次）、特殊論文研修Ⅴ（三年次）及び特殊論文研修Ⅵ（三年次）の六科目十二単位を修得すること。ただし、優れた研究業績を上げて早期に修了する場合は、以下のとおりとする。

二年半で修了する者は十単位（特殊論文研修Ⅰ～Ⅴ）、
 二年で修了する者は八単位（特殊論文研修Ⅰ～Ⅳ）、
 一年半で修了する者は六単位（特殊論文研修Ⅰ～Ⅲ）、
 一年で修了する者は四単位（特殊論文研修Ⅰ～Ⅱ）、
 を修得すること。

別表第三（第三十四条第三項関係）

第一 法学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数
共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講	義
社会科学基礎理論 1	二	
社会科学基礎理論 2	二	
法哲学 1	二	
法哲学 2	二	
法史学 1	二	
法史学 2	二	
比較法学 1	二	
比較法学 2	二	
比較体制論 1	二	
比較体制論 2	二	
法社会学 1	二	
法社会学 2	二	
情報法 1	二	
情報法 2	二	
外国法研究 1	二	
外国法研究 2	二	
法思想史研究 1	二	
法思想史研究 2	二	
古典研究 1	二	
古典研究 2	二	
特殊講義 I		四
特殊講義 II		二

公法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
憲法特講 1	二	
憲法特講 2	二	
憲法演習 1		二
憲法演習 2		二
行政法特講 1	二	
行政法特講 2	二	
行政法演習 1		二
行政法演習 2		二
租税法特講 1	二	
租税法特講 2	二	
租税法演習 1		二
租税法演習 2		二
国際公法特講 1	二	
国際公法特講 2	二	
国際公法演習 1		二
国際公法演習 2		二
公法特殊研究 1	二	
公法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

民事法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
民法特講 1	二	
民法特講 2	二	
民法演習 1		二
民法演習 2		二
商法特講 1	二	
商法特講 2	二	
商法演習 1		二
商法演習 2		二
経済法特講 1	二	
経済法特講 2	二	

經濟法演習 1		二
經濟法演習 2		二
民事訴訟法特講 1	二	
民事訴訟法特講 2	二	
民事訴訟法演習 1		二
民事訴訟法演習 2		二
労働法特講 1	二	
労働法特講 2	二	
労働法演習 1		二
労働法演習 2		二
社会保障法特講 1	二	
社会保障法特講 2	二	
社会保障法演習 1		二
社会保障法演習 2		二
民事法特殊研究 1	二	
民事法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

刑事法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
刑法特講 1	二	
刑法特講 2	二	
刑法演習 1		二
刑法演習 2		二
刑事訴訟法特講 1	二	
刑事訴訟法特講 2	二	
刑事訴訟法演習 1		二
刑事訴訟法演習 2		二
刑事政策特講 1	二	
刑事政策特講 2	二	
刑事政策演習 1		二
刑事政策演習 2		二
犯罪学特講 1	二	
犯罪学特講 2	二	
犯罪学演習 1		二
犯罪学演習 2		二
刑事法特殊研究 1	二	
刑事法特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

国際企業関係法専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
比較企業法 1	二	
比較企業法 2	二	
經濟法 1	二	
經濟法 2	二	
知的財産法 1	二	
知的財産法 2	二	
国際私法 1	二	
国際私法 2	二	
国際取引法 1	二	
国際取引法 2	二	
国際經濟法 1	二	
国際經濟法 2	二	
国際関係法 1	二	
国際関係法 2	二	
アメリカ私法 1	二	
アメリカ私法 2	二	
アメリカ公法 1	二	
アメリカ公法 2	二	
現代国際經濟論 1	二	
現代国際經濟論 2	二	
国際金融為替論 1	二	
国際金融為替論 2	二	

国際企業法務論	二	
国際取引法事例研究	二	
知的財産法事例研究	二	
国際経済法事例研究	二	
国際紛争解決法	二	
現代日本外交論	二	
現代国際関係論	二	
英米契約法	二	
英米財産法	二	
情報法	二	
比較捜査法	二	
金融政策の現代的課題	二	
国際企業論	二	
国際企業財務論	二	
国際企業会計論	二	
Japanese Law 1	二	
Japanese Law 2	二	
Japanese & American Legal Systems 1	二	
Japanese & American Legal Systems 2	二	
Japanese & European Legal Systems 1	二	
Japanese & European Legal Systems 2	二	
Japanese & Islamic Legal Systems 1	二	
Japanese & Islamic Legal Systems 2	二	
Legal Research	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

政治学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
政治学特講 1	二	
政治学特講 2	二	
政治学演習 1		二
政治学演習 2		二
政治思想史特講 1	二	
政治思想史特講 2	二	
政治思想史演習 1		二
政治思想史演習 2		二
政治史特講 1	二	
政治史特講 2	二	
政治史演習 1		二
政治史演習 2		二
行政学特講 1	二	
行政学特講 2	二	
行政学演習 1		二
行政学演習 2		二
地域政治論特講 1	二	
地域政治論特講 2	二	
地域政治論演習 1		二
地域政治論演習 2		二
国際政治学特講 1	二	
国際政治学特講 2	二	
国際政治学演習 1		二
国際政治学演習 2		二
アメリカ政治特講 1	二	
アメリカ政治特講 2	二	
アメリカ政治演習 1		二
アメリカ政治演習 2		二
中国政治特講 1	二	
中国政治特講 2	二	
中国政治演習 1		二
中国政治演習 2		二
国際政治史特講 1	二	
国際政治史特講 2	二	
国際政治史演習 1		二
国際政治史演習 2		二
政治社会学特講 1	二	
政治社会学特講 2	二	
政治社会学演習 1		二

政治社会学演習 2		二
コミュニケーション論特講 1	二	
コミュニケーション論特講 2	二	
コミュニケーション論演習 1		二
コミュニケーション論演習 2		二
政治経済学特講 1	二	
政治経済学特講 2	二	
政治経済学演習 1		二
政治経済学演習 2		二
比較政治学特講 1	二	
比較政治学特講 2	二	
比較政治学演習 1		二
比較政治学演習 2		二
社会思想史特講 1	二	
社会思想史特講 2	二	
社会思想史演習 1		二
社会思想史演習 2		二
政治学特殊研究 1	二	
政治学特殊研究 2	二	
研究特論 1		二
研究特論 2		二

二 履修及び研究方法

- ア 各専攻の修了に必要な単位数三十二単位を各専攻の授業科目及び共通科目の中から選択履修しなければならない。
- イ 前項アの三十二単位のうち十単位については、前項の規定にかかわらず、他専攻若しくは他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修することができる。
- 他専攻の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員及び関係のある研究科委員長の許可を受けなければならない。
- ウ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて、本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて二十単位を限度とする。
- エ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- オ 同一教員による同一名称の授業科目であってもその実質的内容が異なる場合には、二ケ年に限って履修することができる。
- カ 修士論文の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第二 法学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

公法専攻・民事法専攻・刑事法専攻・政治学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
特殊研究Ⅰ	四
特殊研究Ⅱ	四

国際企業関係法専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
国際企業関係特殊研究Ⅰ	四
国際企業関係特殊研究Ⅱ	四
国際企業関係特殊研究Ⅲ	四
国際企業関係特殊研究Ⅳ	四
国際企業関係特殊研究Ⅴ	四
国際企業関係特殊研究Ⅵ	四
国際企業関係特殊研究Ⅶ	四
国際企業関係特殊研究Ⅷ	四
国際企業関係特殊研究Ⅸ	四
国際企業関係特殊研究Ⅹ	四

二 研究及び履修方法

ア 学生は、研究及び博士論文の作成について、指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 学生は、入学後四月末日までに指導教授を経て、研究計画書を研究科委員会に提出しなければならない。

ウ 学生は、毎学年十二月二十日までに指導教授を経て、研究状況報告書を研究科委員会に提出しなければならない。

エ 前二項のイ及びウの規定にかかわらず、第十九条第一項ただし書の適用を受けた者については、研究計画書は入学後九月末日までに、研究状況報告書は毎学年六月二十日までに、それぞれ指導教授を経て、研究科委員会に提出しなければならない。

オ 公法、民事法、刑事法及び政治学専攻の学生は、指導教授の指導により、特殊研究Ⅰ（四単位）及び特殊研究Ⅱ（四単位）の二科目（八単位）を履修しなければならない。

カ 国際企業関係法専攻の学生は、指導教授の指導により、国際企業関係特殊研究Ⅰ（四単位）から国際企業関係特殊研究Ⅹ（四単位）までの授業科目の中から、二科目（八単位）を履修しなければならない。

第三 経済学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

経済学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
基本科目		
マクロ経済学Ⅰ	二	
マクロ経済学Ⅱ	二	
ミクロ経済学Ⅰ	二	
ミクロ経済学Ⅱ	二	
計量経済分析Ⅰ	二	
計量経済分析Ⅱ	二	
ポリティカルエコノミーⅠ	二	
ポリティカルエコノミーⅡ	二	
経済学実習	二	
発展科目		
応用ミクロ経済学Ⅰ	二	
応用ミクロ経済学Ⅱ	二	
マクロ動学Ⅰ	二	
マクロ動学Ⅱ	二	
ミクロ動学Ⅰ	二	
ミクロ動学Ⅱ	二	
生態経済学Ⅰ	二	
生態経済学Ⅱ	二	
資本論体系Ⅰ	二	
資本論体系Ⅱ	二	
経済システム論Ⅰ	二	
経済システム論Ⅱ	二	
現代資本蓄積論Ⅰ	二	
現代資本蓄積論Ⅱ	二	
経済学説史Ⅰ	二	
経済学説史Ⅱ	二	
社会思想史Ⅰ	二	
社会思想史Ⅱ	二	
貨幣信用論Ⅰ	二	
貨幣信用論Ⅱ	二	
ヨーロッパ経済史Ⅰ	二	
ヨーロッパ経済史Ⅱ	二	
日本経済史Ⅰ	二	
日本経済史Ⅱ	二	
計量経済学Ⅰ	二	
計量経済学Ⅱ	二	
統計解析論Ⅰ	二	
統計解析論Ⅱ	二	
構造統計分析Ⅰ	二	
構造統計分析Ⅱ	二	
経済統計論Ⅰ	二	
経済統計論Ⅱ	二	
社会政策論Ⅰ	二	
社会政策論Ⅱ	二	
社会保障論Ⅰ	二	
社会保障論Ⅱ	二	
マクロ会計論Ⅰ	二	
マクロ会計論Ⅱ	二	
会計システム論Ⅰ	二	
会計システム論Ⅱ	二	
企業会計論Ⅰ	二	
企業会計論Ⅱ	二	
数理経済学	二	
社会福祉論	二	
ジェンダーと労働	二	
国際開発論Ⅰ	二	
国際開発論Ⅱ	二	
経済発展論Ⅰ	二	
経済発展論Ⅱ	二	
国際貿易・政策論Ⅰ	二	
国際貿易・政策論Ⅱ	二	
人口政策論Ⅰ	二	

人口政策論Ⅱ	二	
労働市場分析Ⅰ	二	
労働市場分析Ⅱ	二	
金融論Ⅰ	二	
金融論Ⅱ	二	
国際金融論Ⅰ	二	
国際金融論Ⅱ	二	
国際金融の理論と現実Ⅰ	二	
国際金融の理論と現実Ⅱ	二	
開発金融論Ⅰ	二	
開発金融論Ⅱ	二	
企業経済論Ⅰ	二	
企業経済論Ⅱ	二	
企業財務論Ⅰ	二	
企業財務論Ⅱ	二	
外国為替論	二	
証券投資論	二	
金融工学	二	
国際経営戦略論	二	
国際マーケティング論	二	
国際会計論	二	
東南アジア経済論Ⅰ	二	
東南アジア経済論Ⅱ	二	
開発コンサルティング	二	
開発プロジェクト・マネジメント論	二	
NGOと社会開発	二	
International Economy in English	二	
公共経済学Ⅰ	二	
公共経済学Ⅱ	二	
公共政策Ⅰ	二	
公共政策Ⅱ	二	
グローバル・ガバナンス論Ⅰ	二	
グローバル・ガバナンス論Ⅱ	二	
経済政策Ⅰ	二	
経済政策Ⅱ	二	
都市行政学Ⅰ	二	
都市行政学Ⅱ	二	
財政学Ⅰ	二	
財政学Ⅱ	二	
地方財政論Ⅰ	二	
地方財政論Ⅱ	二	
公的金融システム論Ⅰ	二	
公的金融システム論Ⅱ	二	
租税論Ⅰ	二	
租税論Ⅱ	二	
インターネット経済論Ⅰ	二	
インターネット経済論Ⅱ	二	
経済立地論Ⅰ	二	
経済立地論Ⅱ	二	
地域政策論Ⅰ	二	
地域政策論Ⅱ	二	
地域農業政策論Ⅰ	二	
地域農業政策論Ⅱ	二	
交通政策論Ⅰ	二	
交通政策論Ⅱ	二	
中小企業論Ⅰ	二	
中小企業論Ⅱ	二	
産業組織論Ⅰ	二	
産業組織論Ⅱ	二	
環境経済学Ⅰ	二	
環境経済学Ⅱ	二	
環境会計論Ⅰ	二	
環境会計論Ⅱ	二	
都市と環境	二	
環境ガバナンスの研究	二	
公共ガバナンスの研究	二	
公共部門の経済分析	二	
費用便益分析	二	
地域モデル分析	二	
電子社会の法	二	

租税法Ⅰ	二	
租税法Ⅱ	二	
演習科目		
演習Ⅰ		四
演習Ⅱ		四

二 履修方法

- ア 指導教授の指導により発展科目二科目（四単位）及び指導教授の担当する演習一科目（四単位）合計三科目八単位を選択履修しなければならない。
- イ 指導教授の指導により必要最低単位数三十二単位から前項アの八単位を除いた二十四単位を授業科目の中から選択履修しなければならない。ただし、演習は、二科目八単位を超えて履修することはできない。
- ウ 指導教授が必要と認めた場合は、前項イの規定にかかわらず、他専攻若しくは他研究科の講義科目又は交流・協力校が聴講を認めた講義科目の中から十二単位以内を選択履修することができる。他研究科の講義科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- エ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて、本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて二十単位を限度とする。
- オ 交流・協力校が聴講を認めた講義科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- カ 必要最低単位数三十二単位を超えて八単位以内を任意選択として履修することができる（最高履修単位数四十単位）。
- キ 修士論文又は特定の課題についての研究の成果の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第四 経済学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
特殊研究	四

二 研究及び履修方法

- ア 指導教授に博士論文作成の研究指導を受けなければならない。一年次の六月末日までに研究計画書を、次に二年次以降の毎学年四月末日までに研究活動報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。
- イ 授業科目の中から、指導教授の指導により特殊研究一科目（四単位）を履修しなければならない。

第五 商学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
経営学原理Ⅰ	二	
経営学原理Ⅱ	二	
企業論Ⅰ	二	
企業論Ⅱ	二	
技術経営論Ⅰ	二	
技術経営論Ⅱ	二	
財務管理論Ⅰ	二	
財務管理論Ⅱ	二	
生産管理論Ⅰ	二	
生産管理論Ⅱ	二	
マーケティング研究Ⅰ	二	
マーケティング研究Ⅱ	二	
人的資源管理研究Ⅰ	二	
人的資源管理研究Ⅱ	二	
情報経営論Ⅰ	二	
情報経営論Ⅱ	二	
経営史Ⅰ	二	
経営史Ⅱ	二	
国際経営研究Ⅰ	二	
国際経営研究Ⅱ	二	
ビジネス・エコノミクス研究Ⅰ	二	
ビジネス・エコノミクス研究Ⅱ	二	
経営戦略論Ⅰ	二	
経営戦略論Ⅱ	二	
経営組織研究Ⅰ	二	
経営組織研究Ⅱ	二	
経営管理研究Ⅰ	二	
経営管理研究Ⅱ	二	
製造・ロジスティクス研究Ⅰ	二	
製造・ロジスティクス研究Ⅱ	二	
ファイナンス研究Ⅰ	二	
ファイナンス研究Ⅱ	二	
ベンチャービジネス研究Ⅰ	二	
ベンチャービジネス研究Ⅱ	二	
イノベーション・マネジメント論Ⅰ	二	
イノベーション・マネジメント論Ⅱ	二	
アントレプレナーシップ研究Ⅰ	二	
アントレプレナーシップ研究Ⅱ	二	
会計学原理Ⅰ	二	
会計学原理Ⅱ	二	
財務会計論Ⅰ	二	
財務会計論Ⅱ	二	
管理会計Ⅰ	二	
管理会計Ⅱ	二	
原価計算論Ⅰ	二	
原価計算論Ⅱ	二	
会計情報システム論Ⅰ	二	
会計情報システム論Ⅱ	二	
監査論Ⅰ	二	
監査論Ⅱ	二	
税法判例研究Ⅰ	二	
税法判例研究Ⅱ	二	
国際税務論Ⅰ	二	
国際税務論Ⅱ	二	
国際会計論Ⅰ	二	
国際会計論Ⅱ	二	
財務分析Ⅰ	二	
財務分析Ⅱ	二	
商業経営論Ⅰ	二	
商業経営論Ⅱ	二	
マーケティング論Ⅰ	二	
マーケティング論Ⅱ	二	
国際マーケティング論Ⅰ	二	
国際マーケティング論Ⅱ	二	
消費者行動論Ⅰ	二	
消費者行動論Ⅱ	二	

流通論Ⅰ	二	
流通論Ⅱ	二	
流通チャネル論Ⅰ	二	
流通チャネル論Ⅱ	二	
商業史Ⅰ	二	
商業史Ⅱ	二	
貿易論Ⅰ	二	
貿易論Ⅱ	二	
貿易システム論Ⅰ	二	
貿易システム論Ⅱ	二	
マーケティング・コミュニケーション論Ⅰ	二	
マーケティング・コミュニケーション論Ⅱ	二	
マーケティング・データ分析Ⅰ	二	
マーケティング・データ分析Ⅱ	二	
中国・ロシア経済論Ⅰ	二	
中国・ロシア経済論Ⅱ	二	
アメリカ経済論Ⅰ	二	
アメリカ経済論Ⅱ	二	
損害保険論Ⅰ	二	
損害保険論Ⅱ	二	
海上保険論Ⅰ	二	
海上保険論Ⅱ	二	
ビジネス・コミュニケーション論Ⅰ	二	
ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ	二	
国際商務論Ⅰ	二	
国際商務論Ⅱ	二	
金融論Ⅰ	二	
金融論Ⅱ	二	
金融制度論Ⅰ	二	
金融制度論Ⅱ	二	
企業金融論Ⅰ	二	
企業金融論Ⅱ	二	
国際金融論Ⅰ	二	
国際金融論Ⅱ	二	
証券論Ⅰ	二	
証券論Ⅱ	二	
証券投資論Ⅰ	二	
証券投資論Ⅱ	二	
保険学Ⅰ	二	
保険学Ⅱ	二	
生命保険論Ⅰ	二	
生命保険論Ⅱ	二	
金融工学Ⅰ	二	
金融工学Ⅱ	二	
生命保険経営戦略研究Ⅰ	二	
生命保険経営戦略研究Ⅱ	二	
マクロ経済学Ⅰ	二	
マクロ経済学Ⅱ	二	
進化経済学Ⅰ	二	
進化経済学Ⅱ	二	
経済学方法論Ⅰ	二	
経済学方法論Ⅱ	二	
日本経済論Ⅰ	二	
日本経済論Ⅱ	二	
経済史Ⅰ	二	
経済史Ⅱ	二	
計量経済学Ⅰ	二	
計量経済学Ⅱ	二	
景気変動論Ⅰ	二	
景気変動論Ⅱ	二	
統計学Ⅰ	二	
統計学Ⅱ	二	
財政学Ⅰ	二	
財政学Ⅱ	二	
現代経済学Ⅰ	二	
現代経済学Ⅱ	二	
数理ファイナンスⅠ	二	
数理ファイナンスⅡ	二	
応用経済学Ⅰ	二	
応用経済学Ⅱ	二	
経済数学Ⅰ	二	
経済数学Ⅱ	二	

特殊講義	二	
商法 I	二	
商法 II	二	
法人税法 I	二	
法人税法 II	二	
所得税法 I	二	
所得税法 II	二	
相続税法 I	二	
相続税法 II	二	
消費税法 I	二	
消費税法 II	二	
事例研究入門 I	二	
事例研究入門 II	二	
外国専門書研究	四	
日本語専門書研究	四	
実務英語	四	
研究セミナー I	二	
研究セミナー II	四	
導入セミナー I	二	
導入セミナー II	四	
ビジネス・プラクティカル・ワークショップ I	二	
ビジネス・プラクティカル・ワークショップ II	四	
Microeconomics I	二	
Microeconomics II	二	
Social Reserch I	二	
Social Reserch II	二	
Modern Japanese History	二	
Coping with Crises in Complex Socio-Economic Systems Workshop	二	
Financial dealings and the market economy	二	
Artificial Intelligent Economics	二	
Artificial Intelligent Market Experiment	二	
Service Sciences and the Related Economic Matters	二	
演習 I		四
演習 II		四

二 履修方法

- ア 以上の授業科目の中から指導教授の講義一科目（二単位）と同指導教授の演習 I、演習 II を主ゼミナールとして二科目（八単位）、合計三科目（十単位）を選択履修し、かつ、外国専門書研究（四単位）、日本語専門書研究（四単位）（外国人留学生に限る。）、実務英語（四単位）の中から四単位を選択履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて一年で修了する場合の演習科目については、演習 I を履修していれば足りるものとする。
- イ 必要最低単位数三十二単位のうちア項の合計十四単位を除き、残りの十八単位を指導教授の指導により、授業科目の中から選択履修しなければならない。ただし、ア項ただし書に該当する場合には、指導教授の指導によって授業科目の中から選択履修しなければならない単位数を二十二単位とする。
- ウ 指導教授の承認を得て、他の教員担当の演習 I（一年次）及び演習 II（二年次）の中から二十単位まで副ゼミナールとして選択履修することができる。演習 I 及び演習 II を履修する場合には、演習 II については、演習 I を担当する教員以外の教員の担当する演習を選択することができる。
- エ 特殊講義を選択履修する場合は、四単位を超えて履修することはできない。
- オ 指導教授が必要と認めた場合は、イ項の規定にかかわらず、計八単位以内を他研究科の講義科目又は交流・協力校が聴講を認めた講義科目の中から選択履修することができる。
他研究科の講義科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認及び関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- カ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて、本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて十四単位を限度とする。ただし、ア項ただし書に該当する場合には、十八単位を限度とする。
- キ 交流・協力校が聴講を認めた講義科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- ク 必要最低単位数三十二単位を超えて十二単位以内を授業科目の中から任意選択として履修することができる（最高履修単位数四十四単位）。
- ケ 以上の授業科目の履修に際しては、同一教員担当の同一科目の単位を重複して修得することはできない。
- コ 修士論文の作成については、指導教授の研究指導を受けなければならない。

第六 商学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	単 講	義
特殊研究Ⅰ		四
特殊研究Ⅱ		四
特殊研究Ⅲ		四
研究セミナーⅢ		二
研究セミナーⅣ		四

二 研究及び履修方法

ア 学生は、研究及び博士論文の作成について、指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 学生は、毎学年四月末日までに研究計画書を、また毎学年一月二十日までに研究状況報告書を、指導教授を経て、研究科委員会に提出しなければならない。

ウ 学生は、指導教授の担当する特殊研究Ⅰ（一年次）、特殊研究Ⅱ（二年次）、特殊研究Ⅲ（三年次）、合計十二単位を履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて博士学位請求論文を一年次で提出する者は、特殊研究Ⅰを、二年次で提出する者は、特殊研究Ⅰ及び特殊研究Ⅱを履修していること。

第七 理工学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数
共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特殊講義Ⅰ	二	
特殊講義Ⅱ	二	
特殊講義	四	
プロジェクト演習Ⅰ		一
プロジェクト演習Ⅱ		一
プロジェクト演習Ⅲ		一
プロジェクト演習Ⅳ		一
海外特別研修		二
理工学英語セミナーⅠ		一
理工学英語セミナーⅡ		一
環境バイオテクノロジー	二	
環境資源微生物学	二	
生態工学特論	二	
環境修復工学概論	二	
環境保健学	二	
環境化学物質特論	二	
環境数理学	二	
地球環境モデリング概論	二	
海洋環境学	二	
地球温暖化特論	二	
統計学基礎	二	
データサイエンス特論第二	二	
極値統計学特論	二	
線形モデル特論	二	
ベイズ統計特論	二	
非線形モデル特論	二	
医学データ解析特論	二	
多変量解析特論	二	
計算機集約型統計モデル特論	二	
データマイニング特論	二	
ビジネスデータ解析特論	二	
バイオインフォマティクス特論	二	
データサイエンス特論第一	二	
機械学習特論	二	
アクチュアリー数理Ⅰ	二	
アクチュアリー数理Ⅱ	二	
生命保険数理	二	
表面ナノ科学特論	二	
ナノ量子物性特論	二	
ナノ材料科学特論	二	
ナノ材料プロセス工学特論	二	
ナノ微細加工特論	二	
ナノ・マイクロマシン特論	二	
クラスター科学特論	二	

数学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
代数学特論第一	二		
代数学特論第二	二		
代数学特論第三	二		
代数学特論第四	二		
代数学特論第五	二		
代数学特論第六	二		
幾何学特論第一	二		
幾何学特論第二	二		
幾何学特論第三	二		
幾何学特論第四	二		
幾何学特論第五	二		
幾何学特論第六	二		
幾何学特論第七	二		
幾何学特論第八	二		
解析学特論第一	二		
解析学特論第二	二		
解析学特論第三	二		

解析学特論第四	二		
解析学特論第五	二		
解析学特論第六	二		
統計学特論第一	二		
統計学特論第二	二		
統計学特論第三	二		
統計学特論第四	二		
計算数学特論第一	二		
計算数学特論第二	二		
計算数学特論第三	二		
計算数学特論第四	二		
数学論文研修第一		六	
数学特別演習		二	
数学論文研修第二		六	
代数学特別講義第一	二		
代数学特別講義第二	二		
代数学特別講義第三	二		
代数学特別講義第四	二		
代数学特別講義第五	二		
代数学特別講義第六	二		
幾何学特別講義第一	二		
幾何学特別講義第二	二		
幾何学特別講義第三	二		
幾何学特別講義第四	二		
幾何学特別講義第五	二		
幾何学特別講義第六	二		
解析学特別講義第一	二		
解析学特別講義第二	二		
解析学特別講義第三	二		
解析学特別講義第四	二		
解析学特別講義第五	二		
解析学特別講義第六	二		
応用解析特別講義第一	二		
応用解析特別講義第二	二		
応用解析特別講義第三	二		
応用解析特別講義第四	二		
統計数学特別講義第一	二		
統計数学特別講義第二	二		
統計数学特別講義第三	二		
統計数学特別講義第四	二		
統計数学特別講義第五	二		
統計数学特別講義第六	二		
情報数学特別講義第一	二		
情報数学特別講義第二	二		
情報数学特別講義第三	二		
情報数学特別講義第四	二		
情報数学特別講義第五	二		
情報数学特別講義第六	二		

物理学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
数理物理学特論第一	二		
数理物理学特論第二	二		
相関電子系物理学特論第一	二		
相関電子系物理学特論第二	二		
量子光学特論第一	二		
量子光学特論第二	二		
パターン形成物理学特論第一	二		
パターン形成物理学特論第二	二		
非線形物理学特論第一	二		
非線形物理学特論第二	二		
非線形物理学特論第三	二		
量子物理学特論第一	二		
量子物理学特論第二	二		
場の理論特論第一	二		
場の理論特論第二	二		
場の理論特論第三	二		
固体物理学特論第一	二		
固体物理学特論第二	二		
固体物性化学特論第一	二		
固体物性化学特論第二	二		

半導体物理学特論	二		
素粒子論特論第一	二		
素粒子論特論第二	二		
宇宙物理学特論第一	二		
宇宙物理学特論第二	二		
生物物理学特論第一	二		
生物物理学特論第二	二		
生物物理学特論第三	二		
高エネルギー加速器科学第一（放射光・ミュオン・中性子）	二		
高エネルギー加速器科学第一（素粒子・原子核・宇宙）	二		
物理学特別講義第一	二		
物理学特別講義第二	二		
物理学特別講義第三	二		
物理学特別講義第四	二		
物理学特別講義第五	二		
物理学特別講義第六	二		
物理学特別講義第七	二		
物理学論文研修第一		六	
物理学論文研修第二		六	

都市人間環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
健康とリスク解析の統計学	二		
政策評価手法	二		
環境の数理とモデリング	二		
偏微分方程式と数値解析	二		
連続体力学	二		
計算固体力学	二		
非線形力学	二		
材料科学論	二		
道路舗装工学	二		
地盤動力学	二		
地盤減災工学	二		
基礎の破壊と安定性	二		
地盤環境評価論	二		
性能設計	二		
信頼性評価	二		
構造物の安全性・信頼性	二		
構造物の診断と維持補修	二		
交通施設工学	二		
キネシオロジー	二		
スポーツサイエンス	二		
ヒューマンパフォーマンス	二		
応用認知脳科学	二		
応用心理学	二		
認知行動・実験経済学	二		
疫学方法論と応用	二		
大気科学	二		
水文・水循環	二		
計算流体力学	二		
洪水流の水理と河道設計	二		
河川管理論	二		
海岸水理学	二		
沿岸防災学	二		
応用水環境システム工学	二		
水環境制御論	二		
生物圏システム学	二		
水辺生物学	二		
救急救命システム論	二		
ウォーターセーフティ論	二		
応用認知マーケティング	二		
離散選択モデル	二		
エネルギーシステムの合成と評価	二		
環境・エネルギーシステム	二		
環境リスクとその評価	二		
都市交通環境解析論	二		
環境政策論	二		
地形変化と自然災害	二		
環境情報処理・リモートセンシング	二		
応用空間情報科学	二		

都市・地域環境計画	二		
自然共生都市論	二		
都市防災・まちづくり	二		
都市空間解析	二		
交通制御	二		
輸送システム	二		
都市人間環境プロジェクト第一		二	
都市人間環境プロジェクト第二		二	
都市人間環境プロジェクト第三		二	
インターンシップ	二		
都市人間環境特別講義第一	二		
都市人間環境特別講義第二	二		
都市人間環境特別講義第三	二		
都市人間環境学論文研修第一		三	
都市人間環境学論文研修第二		三	
都市人間環境学論文研修第三		三	
都市人間環境学論文研修第四		三	

精密工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
加工学特論第一	二		
加工学特論第二	二		
流体力学特論	四		
マイクロマシン特論	二		
マイクロシステム特論	二		
ヒューマンインタフェース特論第一	二		
ヒューマンインタフェース特論第二	二		
マイクロ・ナノロボティクス特論	二		
マイクロマニピュレーション特論	二		
生産情報システム特論第一	二		
生産情報システム特論第二	二		
情報ナノシステム特論	二		
制御工学特論	二		
ロボット工学特論	二		
固体力学特論第一	二		
固体力学特論第二	二		
生産設計法特論第一	二		
生産設計法特論第二	二		
アクチュエータ工学特論	二		
バイオメカトロニクス特論	二		
ナノ・マイクロ材料評価学特論	二		
構造・機能材料学特論	二		
センシング特論第一	二		
センシング特論第二	二		
音響システム特論第一	二		
音響システム特論第二	二		
熱移動工学特論第一	二		
熱移動工学特論第二	二		
ナノバイオテクノロジー特論	二		
自己組織化工学特論	二		
計算機統合生産演習		二	
Academic Writing	二		
英語プレゼンテーション入門		二	
精密工学論文研修第一		六	
精密工学論文研修第二		六	

電気電子情報通信工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
知的システム特論第一	二		
知的システム特論第二	二		
人間機械協調システム特論	二		
知能機械行動学特論	二		
生理工学特論	二		
バイオシミュレーション工学特論	二		
生体情報工学特論	二		
医療福祉工学特論	二		
システム制御特論	二		
デジタル制御特論	二		
知能情報制御特論	二		

電気電子材料工学特論第一	二		
電気電子材料工学特論第二	二		
電気化学特論	二		
新エネルギー技術特論	二		
情報記録特論第一	二		
情報記録特論第二	二		
基礎物性工学特論	二		
光エレクトロニクス特論	二		
半導体物性工学特論	二		
集積回路技術特論	二		
L S I回路設計特論	二		
ナノスケール集積デバイス特論	二		
極低電力グリーンL S I回路システム特論	二		
システムV L S I設計特論	二		
マイクロプロセッサ特論	二		
並列システム設計特論	二		
回路シミュレーション特論	二		
非線形システム解析特論	二		
グラフとネットワーク特論	二		
回路・ネットワーク・システム特論	二		
ニューラルネットワーク特論	二		
モバイルコンピューティング特論	二		
アルゴリズム設計特論	二		
暗号理論特論	二		
符号理論特論	二		
映像情報処理特論	二		
信号処理特論	二		
電磁気学特論	二		
電磁波工学特論	二		
電磁理論特論第一	二		
電磁理論特論第二	二		
先端技術特別講義	二		
先進研究特別講義第一	二		
先進研究特別講義第二	二		
電気電子情報通信工学論文研修第一		六	
電気電子情報通信工学論文研修第二		六	

応用化学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
機能性高分子化学特論	二		
環境化学特論	二		
環境医科学特論	二		
機器分析化学特論第一	二		
機器分析化学特論第二	二		
有機反応化学特論	二		
有機合成化学特論	二		
ナノ物理化学特論	二		
計算機化学特論	二		
生化学特論	二		
生物工学特論	二		
有機金属化学特論第一	二		
有機金属化学特論第二	二		
表面化学特論	二		
触媒化学特論	二		
構造化学特論	二		
生命科学特論	二		
化学流体力学特論	二		
無機固体化学特論第一	二		
無機固体化学特論第二	二		
超臨界流体工学特論第一	二		
超臨界流体工学特論第二	二		
分子電気化学特論	二		
分子物理化学特論	二		
分子機能化学特論	二		
分光化学特論	二		
固体光化学特論	二		
生体機能化学特論	二		
有機元素化学特論	二		
有機分析化学特論	二		
先端有機化学特論	二		

応用化学特別講義 1	—		
応用化学特別講義 2	—		
応用化学特別講義 3	—		
応用化学特別講義 4	—		
応用化学特別講義 5	—		
応用化学特別講義 6	—		
応用化学特別講義 7	—		
応用化学特別講義 8	—		
応用化学特別講義 9	—		
応用化学特別講義10	—		
応用化学特別講義11	—		
応用化学特別講義12	—		
応用化学論文研修第一			六
応用化学論文研修第二			六

経営システム工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
ヒューマンメディア工学特論第一	二		
ヒューマンメディア工学特論第二	二		
統計工学特論第一	二		
統計工学特論第二	二		
経営管理特論第一	二		
経営管理特論第二	二		
金融工学特論第一	二		
金融工学特論第二	二		
ソフトウェア工学特論第一	二		
ソフトウェア工学特論第二	二		
知能システム工学特論第一	二		
知能システム工学特論第二	二		
品質環境マネジメント特論第一	二		
品質環境マネジメント特論第二	二		
生産管理特論第一	二		
生産管理特論第二	二		
OR特論第一	二		
OR特論第二	二		
信頼性工学特論第一	二		
信頼性工学特論第二	二		
経営情報数学特論	二		
時系列解析特論	二		
知能情報学特論第一	二		
知能情報学特論第二	二		
マーケティング特論第一	二		
マーケティング特論第二	二		
凸最適化特論	二		
金融最適化特論	二		
応用統計学特論第一	二		
応用統計学特論第二	二		
経営システム工学特別講義第一	二		
経営システム工学特別講義第二	二		
経営システム工学特別講義第三	二		
アクチュアリー数理特論	二		
経営システム工学論文研修第一			六
経営システム工学論文研修第二			六

情報工学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
離散アルゴリズム	二		
近似アルゴリズム	二		
計算基礎理論	二		
アルゴリズム応用	二		
アルゴリズム工学特論	二		
応用数理工学特論	二		
数値情報処理理論第一	二		
数値情報処理理論第二	二		
言語系人工知能デザイン	二		
応用系人工知能デザイン	二		
システムのモデリングと最適化特論第一	二		
システムのモデリングと最適化特論第二	二		
暗号と電子認証	二		

メディア情報処理特論	二		
コンピュータ設計特論第一	二		
コンピュータ設計特論第二	二		
コンピュータグラフィックスとバーチャルリアリティ	二		
システム解析と可視化	二		
組合せ最適化特論	二		
数理構造論	二		
空間情報処理	二		
都市空間モデリング	二		
社会と技術の数理	二		
情報ネットワーク構成特論	二		
情報工学論文研修第一		六	
情報工学論文研修第二		六	
暗号理論特論	二		
オペレーティングシステム特論第一	二		
オペレーティングシステム特論第二	二		
情報セキュリティ技術	二		
ネットワークセキュリティ	二		
高信頼プログラミング	二		
情報セキュリティ監査	二		
ネットワーク時代のセキュリティとガバナンス	二		
システム監査	二		
情報セキュリティ法制	二		
先進ICT演習		二	
電子社会と情報セキュリティ	二		

生命科学専攻

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
分子細胞機能論	二		
細胞機能制御論	二		
細胞構造生物学	二		
生体計測・解析	二		
環境生命科学	二		
微生物圏生態学	二		
多様性統合生物学	二		
分子細胞遺伝学	二		
応用分子生物学	二		
生命高分子情報学	二		
分子生理機能工学	二		
分子生物物理学	二		
医用生命科学基礎	二		
資源生物学	二		
分子細胞制御学	二		
生物学特論	二		
生命科学特論第一	二		
生命科学特論第二	二		
生命科学特論第三	二		
生命科学特別講義第一	二		
生命科学特別講義第二	二		
生物資源経済学	二		
生命科学論文研修第一		六	
生命科学論文研修第二		六	

特別履修科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
環境・生命工学概論	二	
環境・生命科学概論	二	
環境・生命特別演習Ⅰ		二
環境・生命特別演習Ⅱ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅰ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅱ		二
ナノ科学特論	二	
ナノ技術特論	二	
ナノテクノロジー特別演習Ⅰ		二
ナノテクノロジー特別演習Ⅱ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅰ		三
情報セキュリティ特別演習Ⅱ		三
感性情報論第一	二	

感性情報論第二	二	
ヒューマンメディア工学	二	
視覚情報処理論	二	
心理計測・実験心理	二	
感性認知脳科学基礎論	二	
ソフトコンピューティング	二	
感性システム論	二	
プロジェクトマネジメントのための感性の実践哲学	二	
感性デザイン論	二	
感性・知性の脳機能論	二	
音楽認知	二	
テクノロジーベンチャーのビジネスデザインと実践	二	
ヒューマンメディア情報環境論	二	
支援工学	二	
感性ロボティクス特別演習第一		二
感性ロボティクス特別演習第二		二
感性ロボティクス特別演習第三		二
感性ロボティクス特別演習第四		二

自由科目

授 業 科 目	単 位 数		
	講 義	演 習	実 験
産業科学技術論A	二		
産業科学技術論B	二		
産業科学技術論C	二		
産業科学技術演習A		一	
産業科学技術演習B		一	
産業科学技術演習C		一	
産業科学技術研修1		二	
産業科学技術研修2		二	
コンピュータグラフィックス	二		
特別演習A		二	
特別演習B		二	
特別演習C		二	
特別演習D		二	

二 研究及び履修方法

- ア 修士論文の作成については指導教授の研究指導を受けなければならない。
- イ 授業科目の履修については指導教授の指導を受けなければならない。
 なお、生命科学専攻の学生は、指導教授の指導により、必要に応じて別に定めた他専攻の授業科目の中から選択履修するものとする。
- ウ 各専攻の必要最低単位数三十単位のうち論文研修第一（一年次）及び論文研修第二（二年次）の二科目十二単位を履修しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げて修士論文を一年次で提出する者は、各専攻の必要最低単位数三十単位のうち論文研修第一を履修していること。
- エ 論文研修第一及び論文研修第二を除く各専攻の必要単位数については、その専攻の授業科目の中から選択履修しなければならない。
- オ 前項エのうち十単位については、前項の規定にかかわらず、共通科目若しくは他専攻の授業科目若しくは他研究科の講義科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目を選択履修することができる。
 他専攻の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の講義科目を履修する場合には、その講義科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- カ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて、本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて二十単位を限度とする。
- キ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- ク 特別履修科目の履修方法は、別に定める。
- ケ 自由科目の履修方法は、別に定める。

第八 理工学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数
数学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
数学特殊論文研修Ⅰ		二
数学特殊論文研修Ⅱ		二
数学特殊論文研修Ⅲ		二
数学特殊論文研修Ⅳ		二
数学特殊論文研修Ⅴ		二
数学特殊論文研修Ⅵ		二

物理学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
物理学特殊論文研修Ⅰ		二
物理学特殊論文研修Ⅱ		二
物理学特殊論文研修Ⅲ		二
物理学特殊論文研修Ⅳ		二
物理学特殊論文研修Ⅴ		二
物理学特殊論文研修Ⅵ		二

都市人間環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
都市人間環境学特殊研究Ⅰ	二	
都市人間環境学特殊研究Ⅱ	二	
都市人間環境学特殊論文研修Ⅰ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅱ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅲ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅳ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅴ		二
都市人間環境学特殊論文研修Ⅵ		二

精密工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
精密工学特殊論文研修Ⅰ		二
精密工学特殊論文研修Ⅱ		二
精密工学特殊論文研修Ⅲ		二
精密工学特殊論文研修Ⅳ		二
精密工学特殊論文研修Ⅴ		二
精密工学特殊論文研修Ⅵ		二

電気電子情報通信工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
電気電子情報通信工学特殊研究Ⅰ	二	
電気電子情報通信工学特殊研究Ⅱ	二	
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅰ		二
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅱ		二
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅲ		二
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅳ		二
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅴ		二
電気電子情報通信工学特殊論文研修Ⅵ		二

応用化学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
応用化学特殊論文研修Ⅰ		二
応用化学特殊論文研修Ⅱ		二
応用化学特殊論文研修Ⅲ		二
応用化学特殊論文研修Ⅳ		二
応用化学特殊論文研修Ⅴ		二
応用化学特殊論文研修Ⅵ		二

経営システム工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
経営システム工学特殊論文研修Ⅰ		二
経営システム工学特殊論文研修Ⅱ		二
経営システム工学特殊論文研修Ⅲ		二
経営システム工学特殊論文研修Ⅳ		二
経営システム工学特殊論文研修Ⅴ		二
経営システム工学特殊論文研修Ⅵ		二

情報工学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
情報工学特殊研究Ⅰ	二	
情報工学特殊研究Ⅱ	二	
情報工学特殊論文研修Ⅰ		二
情報工学特殊論文研修Ⅱ		二
情報工学特殊論文研修Ⅲ		二
情報工学特殊論文研修Ⅳ		二
情報工学特殊論文研修Ⅴ		二
情報工学特殊論文研修Ⅵ		二

情報セキュリティ科学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅰ		二
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅱ		二
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅲ		二
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅳ		二
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅴ		二
情報セキュリティ科学特殊論文研修Ⅵ		二

生命科学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
生命科学特殊論文研修Ⅰ		二
生命科学特殊論文研修Ⅱ		二
生命科学特殊論文研修Ⅲ		二
生命科学特殊論文研修Ⅳ		二
生命科学特殊論文研修Ⅴ		二
生命科学特殊論文研修Ⅵ		二

電気・情報系専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
電気・情報系特殊研究Ⅰ	二	
電気・情報系特殊研究Ⅱ	二	
電気・情報系特殊論文研修Ⅰ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅱ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅲ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅳ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅴ		二
電気・情報系特殊論文研修Ⅵ		二

特別履修科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
環境・生命特別演習Ⅰ		二
環境・生命特別演習Ⅱ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅰ		二
データ科学・アクチュアリー特別演習Ⅱ		二
ナノテクノロジー特別演習Ⅰ		二
ナノテクノロジー特別演習Ⅱ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅰ		二
情報セキュリティ特別演習Ⅱ		二
感性ロボティクス特別演習第一		二
感性ロボティクス特別演習第二		二

感性ロボティクス特別演習第三		二
感性ロボティクス特別演習第四		二

二 研究及び履修方法

ア 研究の計画、実施及び博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。

イ 一年次の九月末日までに研究計画書を、二年次の十二月末日までに研究経過報告書をそれぞれ指導教授を経て研究科委員会に提出しなければならない。

ウ 指導教授の指導により、特殊論文研修Ⅰ（一年次）、特殊論文研修Ⅱ（一年次）、特殊論文研修Ⅲ（二年次）、特殊論文研修Ⅳ（二年次）、特殊論文研修Ⅴ（三年次）及び特殊論文研修Ⅵ（三年次）の六科目十二単位を履修しなければならない。

ただし、優れた研究業績を上げて博士学位論文を一年次で提出する者は、特殊論文研修Ⅰ及び特殊論文研修Ⅱを、二年次で提出する者は特殊論文研修Ⅰ、特殊論文研修Ⅱ、特殊論文研修Ⅲ及び特殊論文研修Ⅳを履修していること。

エ 指導教授が必要と認めた場合は、他専攻又は他研究科の授業科目の中から十単位以内に限り履修することができる。

他専攻の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合には、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。

オ 特別履修科目の履修方法は別に定める。

第九 文学研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数
共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	実 習
特殊講義	二	
総合講座	二	
インターンシップ		二

国文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
上代文学研究A	二	
上代文学研究B	二	
中古文学研究A	二	
中古文学研究B	二	
中世文学研究A	二	
中世文学研究B	二	
近世文学研究A	二	
近世文学研究B	二	
近代文学研究A	二	
近代文学研究B	二	
現代文学研究A	二	
現代文学研究B	二	
日本漢文学研究A	二	
日本漢文学研究B	二	
国語学研究A	二	
国語学研究B	二	
国語史研究A	二	
国語史研究B	二	
書誌学	二	
浮世絵学	二	
映像文化史	二	
マンガ論	二	
国語科教育研究A		二
国語科教育研究B		二

英文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
英文学研究（演劇Ⅰ）A	二	
英文学研究（演劇Ⅰ）B	二	
英文学研究（演劇Ⅱ）A	二	
英文学研究（演劇Ⅱ）B	二	
英文学研究（現代小説Ⅰ）A	二	
英文学研究（現代小説Ⅰ）B	二	
英文学研究（現代小説Ⅱ）A	二	
英文学研究（現代小説Ⅱ）B	二	
英文学研究（近代小説Ⅰ）A	二	
英文学研究（近代小説Ⅰ）B	二	
英文学研究（近代小説Ⅱ）A	二	
英文学研究（近代小説Ⅱ）B	二	
英文学研究（詩Ⅰ）A	二	
英文学研究（詩Ⅰ）B	二	
英文学研究（詩Ⅱ）A	二	
英文学研究（詩Ⅱ）B	二	
英語圏文学研究ⅠA	二	
英語圏文学研究ⅠB	二	
英語圏文学研究ⅡA	二	
英語圏文学研究ⅡB	二	
米文学研究（近代Ⅰ）A	二	
米文学研究（近代Ⅰ）B	二	
米文学研究（近代Ⅱ）A	二	
米文学研究（近代Ⅱ）B	二	
米文学研究（現代Ⅰ）A	二	

米文学研究（現代Ⅰ）B	二
米文学研究（現代Ⅱ）A	二
米文学研究（現代Ⅱ）B	二
米文学研究（現代Ⅲ）A	二
米文学研究（現代Ⅲ）B	二
米文学研究（現代Ⅳ）A	二
米文学研究（現代Ⅳ）B	二
米文学研究（現代Ⅴ）A	二
米文学研究（現代Ⅴ）B	二
米文学研究（現代Ⅵ）A	二
米文学研究（現代Ⅵ）B	二
英語表現演習Ⅰ	二
英語表現演習Ⅱ	二
英語表現演習Ⅲ	二
英語表現演習Ⅳ	二
英語学研究（英語史Ⅰ）A	二
英語学研究（英語史Ⅰ）B	二
英語学研究（英語史Ⅱ）A	二
英語学研究（英語史Ⅱ）B	二
英語学研究（意味論・語用論Ⅰ）A	二
英語学研究（意味論・語用論Ⅰ）B	二
英語学研究（意味論・語用論Ⅱ）A	二
英語学研究（意味論・語用論Ⅱ）B	二
英語学研究（形態論・統語論Ⅰ）A	二
英語学研究（形態論・統語論Ⅰ）B	二
英語学研究（形態論・統語論Ⅱ）A	二
英語学研究（形態論・統語論Ⅱ）B	二
英語学研究（社会言語学）A	二
英語学研究（社会言語学）B	二
英語学研究（心理言語学）A	二
英語学研究（心理言語学）B	二
英語学研究（音声学・音韻論Ⅰ）A	二
英語学研究（音声学・音韻論Ⅰ）B	二
英語学研究（音声学・音韻論Ⅱ）A	二
英語学研究（音声学・音韻論Ⅱ）B	二
英語学研究（言語習得論Ⅰ）A	二
英語学研究（言語習得論Ⅰ）B	二
英語学研究（言語習得論Ⅱ）A	二
英語学研究（言語習得論Ⅱ）B	二
英語教育研究ⅠA	二
英語教育研究ⅠB	二
英語教育研究ⅡA	二
英語教育研究ⅡB	二

独文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
ドイツ文学演習A		二
ドイツ文学演習B		二
ドイツ語学・教授法演習A		二
ドイツ語学・教授法演習B		二
ドイツ文化演習A		二
ドイツ文化演習B		二
ドイツ芸術論演習A		二
ドイツ芸術論演習B		二
ドイツ社会誌演習A		二
ドイツ社会誌演習B		二
比較文学・比較文化演習A		二
比較文学・比較文化演習B		二
学術ドイツ語・研究法演習A		二
学術ドイツ語・研究法演習B		二
ドイツ文化論研究A	二	
ドイツ文化論研究B	二	

仏文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習

フランス古典啓蒙文学演習A		二
フランス古典啓蒙文学演習B		二
フランス近代文学演習A		二
フランス近代文学演習B		二
フランス現代文学演習A		二
フランス現代文学演習B		二
フランス詩演習A		二
フランス詩演習B		二
フランス演劇・映画演習A		二
フランス演劇・映画演習B		二
フランス言語思想演習A		二
フランス言語思想演習B		二
フランス文化・社会史演習A		二
フランス文化・社会史演習B		二
フランス近代美術史演習A		二
フランス近代美術史演習B		二

中国言語文化専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
中国現代文学演習A		二
中国現代文学演習B		二
中国古典文学演習A		二
中国古典文学演習B		二
中国思想文化演習A		二
中国思想文化演習B		二
日中比較文化演習A		二
日中比較文化演習B		二
中国語現代文法演習A		二
中国語現代文法演習B		二
中国語語彙論演習A		二
中国語語彙論演習B		二
中国語表現演習A		二
中国語表現演習B		二
中国語翻訳演習A		二
中国語翻訳演習B		二

日本史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
日本古代史演習 I A		二
日本古代史演習 I B		二
日本古代史演習 II A		二
日本古代史演習 II B		二
日本中世史演習 I A		二
日本中世史演習 I B		二
日本中世史演習 II A		二
日本中世史演習 II B		二
日本中世史演習 III A		二
日本中世史演習 III B		二
日本近世史演習 I A		二
日本近世史演習 I B		二
日本近世史演習 II A		二
日本近世史演習 II B		二
日本近代史演習 I A		二
日本近代史演習 I B		二
日本近代史演習 II A		二
日本近代史演習 II B		二
日本政治史演習 I A		二
日本政治史演習 I B		二
日本政治史演習 II A		二
日本政治史演習 II B		二
日本政治史演習 III A		二
日本政治史演習 III B		二
日本考古学演習A		二
日本考古学演習B		二
記録史料学研究A		二
記録史料学研究B		二

史料管理学研究	四
考古学研究A	二
考古学研究B	二

東洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
中国古代史特講A	二	
中国古代史特講B	二	
中国古代史演習A		二
中国古代史演習B		二
中国中世史特講A	二	
中国中世史特講B	二	
中国中世史演習A		二
中国中世史演習B		二
中国近世史特講A	二	
中国近世史特講B	二	
中国近世史演習A		二
中国近世史演習B		二
中国近代史特講A	二	
中国近代史特講B	二	
中国近代史演習A		二
中国近代史演習B		二
中央ユーラシア史特講A	二	
中央ユーラシア史特講B	二	
中央ユーラシア史演習A		二
中央ユーラシア史演習B		二
イスラーム史特講A	二	
イスラーム史特講B	二	
イスラーム史演習A		二
イスラーム史演習B		二
東南アジア史特講A	二	
東南アジア史特講B	二	
東南アジア史演習A		二
東南アジア史演習B		二
東洋史学特講A	二	
東洋史学特講B	二	
東洋史学演習A		二
東洋史学演習B		二
東洋文化特講A	二	
東洋文化特講B	二	

西洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
西洋古代史演習 I A		二
西洋古代史演習 I B		二
西洋古代史演習 II A		二
西洋古代史演習 II B		二
西洋古代史演習 III A		二
西洋古代史演習 III B		二
西洋中世史演習 I A		二
西洋中世史演習 I B		二
西洋中世史演習 II A		二
西洋中世史演習 II B		二
西洋近世史演習 I A		二
西洋近世史演習 I B		二
西洋近世史演習 II A		二
西洋近世史演習 II B		二
西洋近代史演習 I A		二
西洋近代史演習 I B		二
西洋近代史演習 II A		二
西洋近代史演習 II B		二
西洋現代史演習A		二
西洋現代史演習B		二
西洋史基礎演習 I A		二
西洋史基礎演習 I B		二

西洋史基礎演習ⅡA		二
西洋史基礎演習ⅡB		二

哲学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
西洋古代中世哲学研究ⅠA	二	
西洋古代中世哲学研究ⅠB	二	
西洋古代中世哲学研究ⅡA	二	
西洋古代中世哲学研究ⅡB	二	
西洋近世哲学研究ⅠA	二	
西洋近世哲学研究ⅠB	二	
西洋近世哲学研究ⅡA	二	
西洋近世哲学研究ⅡB	二	
西洋近代哲学研究ⅠA	二	
西洋近代哲学研究ⅠB	二	
西洋近代哲学研究ⅡA	二	
西洋近代哲学研究ⅡB	二	
西洋現代哲学研究ⅠA	二	
西洋現代哲学研究ⅠB	二	
西洋現代哲学研究ⅡA	二	
西洋現代哲学研究ⅡB	二	
中国哲学研究ⅠA	二	
中国哲学研究ⅠB	二	
中国哲学研究ⅡA	二	
中国哲学研究ⅡB	二	
日本倫理思想研究ⅠA	二	
日本倫理思想研究ⅠB	二	
日本倫理思想研究ⅡA	二	
日本倫理思想研究ⅡB	二	
科学哲学A	二	
科学哲学B	二	

社会学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
社会問題演習A		二
社会問題演習B		二
逸脱の社会学特講A	二	
逸脱の社会学特講B	二	
家族社会学演習A		二
家族社会学演習B		二
ジェンダー論特講A	二	
ジェンダー論特講B	二	
社会学理論（古典）特講	二	
社会学理論（現代）特講	二	
理論社会学演習A		二
理論社会学演習B		二
地域社会学演習		二
都市社会学演習		二
惑星社会論特講A	二	
惑星社会論特講B	二	
比較社会学演習A		二
比較社会学演習B		二
グローバル社会運動論特講A	二	
グローバル社会運動論特講B	二	
臨床社会学演習		二
歴史社会学演習		二
日常性の社会学特講	二	
権力と支配の社会学特講	二	
質的調査研究		二
国際フィールドワーク研究		二
現代社会論特講A	二	
現代社会論特講B	二	
現代理論社会学特講A	二	
現代理論社会学特講B	二	

調査理論特講A	二	
調査理論特講B	二	

社会情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
社会心理学特講A	二	
社会心理学特講B	二	
社会心理学演習A		二
社会心理学演習B		二
文化社会学特講A	二	
文化社会学特講B	二	
文化社会学演習A		二
文化社会学演習B		二
メディア・コミュニケーション論特講A	二	
メディア・コミュニケーション論特講B	二	
メディア・コミュニケーション論演習A		二
メディア・コミュニケーション論演習B		二
社会情報学基礎理論特講A	二	
社会情報学基礎理論特講B	二	
社会情報学調査法演習A		二
社会情報学調査法演習B		二
図書館情報学特講A	二	
図書館情報学特講B	二	
図書館情報学演習A		二
図書館情報学演習B		二
情報システム学特講A	二	
情報システム学特講B	二	
情報システム学演習A		二
情報システム学演習B		二
コミュニケーション論特講A	二	
コミュニケーション論特講B	二	
メディア論特講A	二	
メディア論特講B	二	
情報科学特講A	二	
情報科学特講B	二	
記録管理学特講A	二	
記録管理学特講B	二	

教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
教育哲学特講	二	
教育哲学演習		二
教育史特講	二	
教育史演習		二
教育思想史特講Ⅰ	二	
教育思想史特講Ⅱ	二	
教育方法学特講	二	
教育方法学演習		二
教育行政学特講	二	
教育行政学演習		二
学校教育学特講Ⅰ	二	
学校教育学特講Ⅱ	二	
教育社会学特講	二	
教育社会学演習		二
生涯学習論特講	二	
生涯学習論演習		二
教育調査法特講Ⅰ	二	
教育調査法特講Ⅱ	二	
教育学研究特講Ⅰ	二	
教育学研究特講Ⅱ	二	
教育学総合演習A		二
教育学総合演習B		二

心理学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
心理学基礎理論Ⅰ	二	
心理学基礎理論Ⅱ	二	
臨床神経心理学特講Ⅰ	二	
臨床神経心理学特講Ⅱ	二	
臨床神経心理学演習Ⅰ		二
臨床神経心理学演習Ⅱ		二
認知心理学特講Ⅰ	二	
認知心理学特講Ⅱ	二	
認知心理学演習Ⅰ		二
認知心理学演習Ⅱ		二
文化・認知心理学特講Ⅰ	二	
文化・認知心理学特講Ⅱ	二	
文化・認知心理学演習Ⅰ		二
文化・認知心理学演習Ⅱ		二
生涯発達心理学特講Ⅰ	二	
生涯発達心理学特講Ⅱ	二	
生涯発達心理学演習Ⅰ		二
生涯発達心理学演習Ⅱ		二
発達臨床心理学特講	二	
発達臨床心理学演習		二
障害児心理学特講	二	
神経心理学特講	二	
心理学情報処理演習		二
Academic Writing and Presentation Skills in Psychology	二	
学校カウンセリング演習		二
臨床心理学特論Ⅰ	二	
臨床心理学特論Ⅱ	二	
臨床心理面接特論Ⅰ	二	
臨床心理面接特論Ⅱ	二	
臨床心理査定演習Ⅰ		二
臨床心理査定演習Ⅱ		二
臨床心理基礎実習A		一
臨床心理基礎実習B		一
臨床心理実習A		一
臨床心理実習B		一
心理学研究法特講	二	
心理統計法特講	二	
Community Psychology	二	
社会病理学特講	二	
犯罪心理学特講	二	
精神医学特講	二	
心理療法特講	二	
臨床心理地域援助特講	二	

特別指定科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特別指定科目Ⅰ	二	
特別指定科目Ⅱ	二	
特別指定科目Ⅲ	二	
特別指定科目Ⅳ	二	
特別指定科目Ⅴ	二	
特別指定科目Ⅵ	二	

二 履修方法

- ア 各専攻の授業科目は、指導教授の指導により選択履修しなければならない。ただし、教育学専攻の学生は教育学総合演習A及び教育学総合演習Bを、心理学専攻の学生は心理学基礎理論Ⅰ及び心理学基礎理論Ⅱを一年次に履修しなければならない。
- イ 修了に必要な単位数三十二単位は、各専攻の授業科目及び共通科目の中から選択履修しなければならない。
- ウ 指導教授が必要と認めた場合は、前項の規定にかかわらず、十二単位以内を他専攻若しくは他研究科が聴講を認めた授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修することができる。
- エ 他専攻の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担任教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- オ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて、本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて二十単位を限度とする。

- カ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- キ 修士論文の作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- ク 特別指定科目の履修方法は、別に定める。

第十 文学研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数
共通科目

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	実 習
特別研究	二	
総合研究	二	
インターンシップ		二

国文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	義 義
上代文学特殊研究A		二
上代文学特殊研究B		二
中古文学特殊研究A		二
中古文学特殊研究B		二
中世文学特殊研究A		二
中世文学特殊研究B		二
近世文学特殊研究A		二
近世文学特殊研究B		二
近代文学特殊研究A		二
近代文学特殊研究B		二
現代文学特殊研究A		二
現代文学特殊研究B		二
国語学特殊研究A		二
国語学特殊研究B		二
日本漢文学特殊研究A		二
日本漢文学特殊研究B		二
国語史特殊研究A		二
国語史特殊研究B		二

英文学専攻

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	義 義
英文学特殊研究ⅠA		二
英文学特殊研究ⅠB		二
英文学特殊研究ⅡA		二
英文学特殊研究ⅡB		二
英文学特殊研究ⅢA		二
英文学特殊研究ⅢB		二
英文学特殊研究ⅣA		二
英文学特殊研究ⅣB		二
英文学特殊研究ⅤA		二
英文学特殊研究ⅤB		二
英文学特殊研究ⅥA		二
英文学特殊研究ⅥB		二
英文学特殊研究ⅦA		二
英文学特殊研究ⅦB		二
英文学特殊研究ⅧA		二
英文学特殊研究ⅧB		二
米文学特殊研究ⅠA		二
米文学特殊研究ⅠB		二
米文学特殊研究ⅡA		二
米文学特殊研究ⅡB		二
米文学特殊研究ⅢA		二
米文学特殊研究ⅢB		二
米文学特殊研究ⅣA		二
米文学特殊研究ⅣB		二
米文学特殊研究ⅤA		二
米文学特殊研究ⅤB		二
英語学特殊研究ⅠA		二
英語学特殊研究ⅠB		二
英語学特殊研究ⅡA		二
英語学特殊研究ⅡB		二
英語学特殊研究ⅢA		二

英語学特殊研究Ⅲ B	二
英語学特殊研究Ⅳ A	二
英語学特殊研究Ⅳ B	二
英語学特殊研究Ⅴ A	二
英語学特殊研究Ⅴ B	二

独文学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
ドイツ文学特殊研究 A	二
ドイツ文学特殊研究 B	二
ドイツ語学・教授法特殊研究 A	二
ドイツ語学・教授法特殊研究 B	二
ドイツ文化特殊研究 A	二
ドイツ文化特殊研究 B	二
ドイツ芸術論特殊研究 A	二
ドイツ芸術論特殊研究 B	二
ドイツ社会誌特殊研究 A	二
ドイツ社会誌特殊研究 B	二
比較文学・比較文化特殊研究 A	二
比較文学・比較文化特殊研究 B	二

仏文学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
フランス古典啓蒙文学特殊研究 A	二
フランス古典啓蒙文学特殊研究 B	二
フランス近代文学特殊研究 A	二
フランス近代文学特殊研究 B	二
フランス現代文学特殊研究 A	二
フランス現代文学特殊研究 B	二
フランス詩特殊研究 A	二
フランス詩特殊研究 B	二
フランス演劇・映画特殊研究 A	二
フランス演劇・映画特殊研究 B	二
フランス言語思想特殊研究 A	二
フランス言語思想特殊研究 B	二
フランス文化・社会史特殊研究 A	二
フランス文化・社会史特殊研究 B	二
フランス近代美術史特殊研究 A	二
フランス近代美術史特殊研究 B	二

中国言語文化専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
中国語学特殊研究Ⅰ A	二
中国語学特殊研究Ⅰ B	二
中国語学特殊研究Ⅱ A	二
中国語学特殊研究Ⅱ B	二
中国文学特殊研究Ⅰ A	二
中国文学特殊研究Ⅰ B	二
中国文学特殊研究Ⅱ A	二
中国文学特殊研究Ⅱ B	二
中国文化特殊研究Ⅰ A	二
中国文化特殊研究Ⅰ B	二
中国文化特殊研究Ⅱ A	二
中国文化特殊研究Ⅱ B	二

日本史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
日本古代史特殊研究 A	二
日本古代史特殊研究 B	二
日本中世史特殊研究 A	二
日本中世史特殊研究 B	二

日本近世史特殊研究 A	二
日本近世史特殊研究 B	二
日本近代史特殊研究 A	二
日本近代史特殊研究 B	二
日本政治史特殊研究 I A	二
日本政治史特殊研究 I B	二
日本政治史特殊研究 II A	二
日本政治史特殊研究 II B	二
日本史学特殊研究 I A	二
日本史学特殊研究 I B	二
日本史学特殊研究 II A	二
日本史学特殊研究 II B	二
日本考古学特殊研究 A	二
日本考古学特殊研究 B	二
史料学特殊研究	四

東洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
中国古代史特殊研究 A	二
中国古代史特殊研究 B	二
中国中世史特殊研究 A	二
中国中世史特殊研究 B	二
中国近世史特殊研究 A	二
中国近世史特殊研究 B	二
中国近代史特殊研究 A	二
中国近代史特殊研究 B	二
中央ユーラシア史特殊研究 A	二
中央ユーラシア史特殊研究 B	二
イスラーム史特殊研究 A	二
イスラーム史特殊研究 B	二
東南アジア史特殊研究 A	二
東南アジア史特殊研究 B	二
東洋史学特殊研究 (朝鮮史) A	二
東洋史学特殊研究 (朝鮮史) B	二
東洋文化特殊研究 A	二
東洋文化特殊研究 B	二

西洋史学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
西洋現代史特殊研究 A	二
西洋現代史特殊研究 B	二
西洋近代史特殊研究 A	二
西洋近代史特殊研究 B	二
西洋近世史特殊研究 A	二
西洋近世史特殊研究 B	二
西洋中世史特殊研究 A	二
西洋中世史特殊研究 B	二
西洋古代史特殊研究 A	二
西洋古代史特殊研究 B	二

哲学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
西洋古代中世哲学特殊研究 A	二
西洋古代中世哲学特殊研究 B	二
西洋近世哲学特殊研究 A	二
西洋近世哲学特殊研究 B	二
西洋近代哲学特殊研究 A	二
西洋近代哲学特殊研究 B	二
西洋現代哲学特殊研究 A	二
西洋現代哲学特殊研究 B	二
日本倫理思想特殊研究 A	二
日本倫理思想特殊研究 B	二
中国哲学特殊研究 A	二

中国哲学特殊研究B	二
科学哲学特殊研究A	二
科学哲学特殊研究B	二

社会学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
社会病理学特殊研究A	二
社会病理学特殊研究B	二
家族社会学特殊研究A	二
家族社会学特殊研究B	二
理論社会学特殊研究A	二
理論社会学特殊研究B	二
地域社会学特殊研究A	二
地域社会学特殊研究B	二
比較社会学特殊研究A	二
比較社会学特殊研究B	二
臨床社会学特殊研究A	二
臨床社会学特殊研究B	二
現代社会学特殊研究A	二
現代社会学特殊研究B	二

社会情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
社会心理学特殊研究A	二
社会心理学特殊研究B	二
社会情報学理論と方法論特殊研究A	二
社会情報学理論と方法論特殊研究B	二
文化社会学特殊研究A	二
文化社会学特殊研究B	二
メディア論特殊研究A	二
メディア論特殊研究B	二
図書館情報学特殊研究A	二
図書館情報学特殊研究B	二
情報システム学特殊研究A	二
情報システム学特殊研究B	二
コミュニケーション論特殊研究A	二
コミュニケーション論特殊研究B	二
メディア・コミュニケーション論特殊研究A	二
メディア・コミュニケーション論特殊研究B	二
情報科学特殊研究A	二
情報科学特殊研究B	二

教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数
	講 義
教育哲学特殊研究A	二
教育哲学特殊研究B	二
教育方法学特殊研究A	二
教育方法学特殊研究B	二
教育行政学特殊研究A	二
教育行政学特殊研究B	二
教育社会学特殊研究A	二
教育社会学特殊研究B	二
教育史特殊研究A	二
教育史特殊研究B	二
生涯学習論特殊研究A	二
生涯学習論特殊研究B	二
教育学特殊研究Ⅰ	二
教育学特殊研究Ⅱ	二

心理学専攻

授 業 科 目	単 位 数
---------	-------

	講	義
学校臨床心理学特殊研究Ⅰ		二
学校臨床心理学特殊研究Ⅱ		二
認知心理学特殊研究Ⅰ		二
認知心理学特殊研究Ⅱ		二
文化・認知心理学特殊研究Ⅰ		二
文化・認知心理学特殊研究Ⅱ		二
生涯発達心理学特殊研究Ⅰ		二
生涯発達心理学特殊研究Ⅱ		二
心理療法特殊研究Ⅰ		二
心理療法特殊研究Ⅱ		二
神経心理学特殊研究Ⅰ		二
神経心理学特殊研究Ⅱ		二
精神医学特殊研究Ⅰ		二
精神医学特殊研究Ⅱ		二
心理学特殊講義Ⅰ		二
心理学特殊講義Ⅱ		二

二 研究及び履修方法

- ア 博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- イ 各年次毎の五月上旬に研究計画書を、一月中旬に研究経過報告書を指導教授へ提出しなければならない。
- ウ 各専攻の授業科目及び共通科目の中から、指導教授の指導により講義十六単位を選択履修しなければならない。
- エ 指導教授が必要と認めた場合は、他専攻若しくは他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から、八単位を選択履修することができる。
他専攻の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認を、他研究科の授業科目を履修する場合は、その授業科目の担当教員の承認並びに関係研究科委員長の許可を受けなければならない。
- オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。

第十一 総合政策研究科博士課程前期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
研究基礎科目		
計画数理と計量メソッド	二	
政策分析手法Ⅰ	二	
政策分析手法Ⅱ	二	
政策分析手法Ⅲ	二	
政策科学	二	
計量社会学	二	
文献情報	二	
実践的取材論	二	
英語プレゼンテーションの技法	二	
研究発展科目		
正義と法	二	
立法過程論	二	
比較政治学方法論	二	
行政管理論	二	
司法過程論	二	
地方行政論	二	
社会安全政策論	二	
政策法学	二	
学際法学	二	
公共経済と公共選択	二	
応用ミクロ経済学	二	
人的資源論	二	
金融の理論とその応用	二	
環境・経済政策	二	
市場と規制の政策分析	二	
法人類学	二	
地方財政論	二	
経営組織論	二	
経営戦略論	二	
多国籍企業と人事管理	二	
国際経営論	二	
ビジネス・ファイナンス	二	
ベンチャービジネス経営論	二	
国際マーケティング戦略	二	
環境監査論	二	
経営リスクマネジメント	二	
企業経済論	二	
ビジネス・エコノミクス研究	二	
国際システム論	二	
国際関係と外交	二	
現代外交史	二	
安全保障論	二	
環境汚染管理	二	
民族紛争と共生	二	
西アジアとグローバリゼーション	二	
現代メディア論	二	
環境と都市	二	
都市計画論	二	
NPO・NGO論Ⅰ	二	
NPO・NGO論Ⅱ	二	
開発におけるスポーツ	二	
イスラーム文明と現代世界	二	
イスラーム哲学（イスラーム思想）	二	
アメリカの民族と言語	二	
言語とアイデンティティ	二	
比較文化論	二	
演劇と人間	二	
ジェンダー・セクシュアリティ論	二	
芸術と社会・芸術と産業	二	
アジア比較歴史論	二	
東南アジアの社会と文化	二	
日本・アジア関係史	二	

アジアの宗教	二	
シベリアの社会と民族	二	
アジア開発経済論	二	
南アジアの社会と文化	二	
華人の社会と文化	二	
日本歴史民俗論	二	
学術研究Ⅰ	二	
学術研究Ⅱ	二	
学術研究Ⅲ	二	
学術研究Ⅳ	二	
特殊講義Ⅰ	二	
特殊講義Ⅱ	二	
研究応用科目		
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（一）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（二）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（三）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅰ（四）		二
演習（総合政策セミナー）Ⅱ		四
総合政策フォーラム		二

二 研究及び履修方法

- ア 研究応用科目の演習（総合政策セミナー）Ⅰ（一）、（二）、（三）、（四）（各二単位）合計八単位及び演習（総合政策セミナー）Ⅱ四単位を履修し、セミナーに関連する修士論文又は共同研究報告書を作成し提出しなければならない。
- イ 修了に必要な単位数三十単位のうち、前項アの十二単位を除く十八単位を研究基礎科目、研究発展科目及び研究応用科目の授業科目の中から選択履修しなければならない。
- ウ イ項の十八単位のうち八単位については、イ項の規定にかかわらず、他研究科の授業科目又は交流・協力校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修することができる。
他研究科の授業科目を履修する場合においては、その授業科目の担当教員及び関係のある研究科委員長の許可を受けなければならない。
- エ 第二十五条の二、第三十六条の二及び第五十五条の規定に基づいて本大学院の単位として認定を受けることのできる単位数は、合わせて十八単位を限度とする。
- オ 交流・協力校が聴講を認めた授業科目を履修する場合の手続は、別に定める。
- カ 修士論文又は共同研究報告書の作成に当たっては、研究指導を受けなければならない。

第十二 総合政策研究科博士課程後期課程

一 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	講 義	演 習
特殊研究Ⅰ	四	
特殊研究Ⅱ	四	

二 研究及び履修方法

ア 毎学年の四月末日までに研究計画書を、一月二十日までに研究状況報告書を、指導教授を経由して研究科委員会に提出しなければならない。

イ 博士論文作成に当たっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。

ウ 学生は指導教授の担当する特殊研究Ⅰ（一年次）、特殊研究Ⅱ（二年次）、合計八単位を履修しなければならない。

別表第四 (第四十五条の二第二項関係)

研究科名	専攻名	免許状の種類及び教科	
		中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
法学研究科	公法専攻	社 会	公 民
	民事法専攻	社 会	公 民
	刑事法専攻	社 会	公 民
	国際企業関係法専攻	社 会	公 民
	政治学専攻	社 会	地 理 歴 史 公 民
経済学研究科	経済学専攻	社 会	地 理 歴 史 公 民
商学研究科	商学専攻	社 会	商 業
理工学研究科	数学専攻	数 学	数 学
	物理学専攻	理 科	理 科
	都市人間環境学専攻		工 業
	精密工学専攻		工 業
	電気電子情報通信工学専攻		工 業
	応用化学専攻	理 科	理 科
	経営システム工学専攻		情 報
	情報工学専攻		情 報
	生命科学専攻	理 科	理 科
文学研究科	国文学専攻	国 語	国 語
	英文学専攻	外国語 (英 語)	外国語 (英 語)
	独文学専攻	外国語 (ドイツ語)	外国語 (ドイツ語)
	仏文学専攻	外国語 (フランス語)	外国語 (フランス語)
	中国言語文化専攻	外国語 (中国語)	外国語 (中国語)
	日本史学専攻	社 会	地 理 歴 史
	東洋史学専攻	社 会	地 理 歴 史
	西洋史学専攻	社 会	地 理 歴 史
	哲学専攻	社 会	公 民
	社会学専攻	社 会	公 民
	社会情報学専攻		情 報
	教育学専攻	国 語 会 社 会 学 数 理 学 英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語	国 語 史 地 理 歴 史 公 民 学 数 理 学 工 業 科 商 業 科 英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語 情 報
	心理学専攻	社 会	公 民
	総合政策研究科	総合政策専攻	社 会

別表第五 (第四十九条関係)

(単位・円)

費 目	金 額
選 考 料	三五、〇〇〇
推 薦 入 学 選 考 料	三五、〇〇〇

別表第五の二

(単位・円)

費 目	金 額
審 査 料	五、〇〇〇

別表第六（第五十条第一項関係）

法学研究科、経済学研究科、商学研究科、理工学研究科、文学研究科及び総合政策研究科

(単位・円)

研究科	年度	費目	入学金	在学料	特別研究指導料		実験実習料	施設設備費
					博士課程前期課程・修士課程	博士課程後期課程		
法学・商学・文学研究科 ・経済学・	平成三十年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	平成三十一年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	平成三十二年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
	平成三十三年度		二四〇、〇〇〇	五五九、六〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	—	一二八、三〇〇
理工学研究科	平成三十年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	平成三十一年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	平成三十二年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
	平成三十三年度		二四〇、〇〇〇	八〇六、八〇〇	—	—	七五、二〇〇	一八三、七〇〇
総合政策研究科	平成三十年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	平成三十一年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	平成三十二年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇
	平成三十三年度		二四〇、〇〇〇	六九九、九〇〇	四二、〇〇〇	九六、〇〇〇	四七、八〇〇	一六一、一〇〇

(注) 1 入学金は、二年目から不要である。

2 特別研究指導料は、社会人向けに実施する選考により法学研究科、経済学研究科又は総合政策研究科に入学した者が納入するものとする。ただし、標準修業年限を超えて在学する場合は必要としない。

別表第六の二(第五十七条の二第一項関係)

(単位・円)

費目	金額
審査料	一一、〇〇〇

別表第六の三(第五十七条の二第二項関係)

(単位・円)

研究科等	金額	
	法学・経済学・商学・理工学・文学・総合政策研究科	
入学手続料		一〇、〇〇〇
科目履修料	一単位	三一、〇〇〇
教職履修料		一八、〇〇〇

別表第七(第五十九条関係)

(単位・円)

研究科等	金額	
	法学・経済学・商学・理工学・文学・総合政策研究科	
聴講料	一単位	一五、〇〇〇